平成28年度第2回大阪府立図書館指定管理者評価委員会議事要旨

１　日時　　平成29年1月27日（金）13時30 分～16時

２　場所　　大阪府立中央図書館　2階大会議室　（東大阪市荒本北１－２－１）

３　議題　　平成28年度指定管理者の業務状況の評価について

４　主な意見等

【評価全体について】

（委　員）所管課評価はどのような資料、どの情報に基づいて評価しているのかわかるよ

う工夫されてはどうか。

（事務局）どの情報に基づき評価しているかわかるよう、次年度以降工夫する。

【中之島図書館指定管理業務評価について】

≪Ⅰ提案の履行状況に関する項目≫

（委　員）（３）②の情報発信について、ホームページが指定管理と府で２つ存在し、利便性が悪い。１つのホームページにするか、相互にリンクさせるなら、バナーをわかりやすく表示するべき。

（事務局）情報管理の面から、ホームページを1つにするのは難しい。バナーの工夫により相互に行き来しやすいようにしていく。

（委　員）（４）①のガイドツアーについて、ターゲットを定め、その層向けのアピールをしてはどうか。外国人にアピールするなら、空港に広告を設置する、団体にアピールするなら、他の観光施設の団体ガイドツアーで広報してもらえるよう依頼する等。

（指定管理者）参加者は個人参加がほとんどで、年齢層は幅広い。ターゲットを絞り込もうとは考えていない。現在ガイドツアーを土曜日に実施しているが、平日の希望もある。今後、外国の人向けガイドツアーも積極的に実施したい。

（委　員）（４）①で文化事業のアンケートが未実施だった理由は何か。

（指定管理者）年度当初は人員体制が不安定だったため、業務の引き継ぎが円滑にできず、文化事業においてアンケートを実施すべきという認識が欠如していたため。

（委　員）（４）②の所管課評価について、単独事業の充実をしてほしいとあり、B評価になっているが、展示室は「入室者数」、「単独事業と共同企画の回数」のどちらを重視しているのか。入室者数にこだわるなら、単独事業の集客がよくなければ、共同企画のみにする等の対応をしてはどうか。

（事務局）府があらかじめ示していた基準に沿い指定管理者が計画した単独事業・共同企画について、それぞれの計画回数どおり実施されていなかったためB評価とした。入室者数に拘る面もあるが、一番のねらいは中之島図書館を文化ステーションにすることであり、指定管理者としての独自企画にも期待している。

（委　員）（４）①の展示と②の展示の違いは。①の所管課評価に「今後は講座・イベントでの参加者増の取組みを望む」とあるが、展示をしてはいけないのか。

（事務局）①は多目的スペースを利用しての展示と、②は展示室での展示の違い。

展示室での展示は本来の目的どおりであるが、多目的スペースについては、有料活用をしていただくところ。しかし、無料の展示となっていたため、記載のとおりのコメントとなった。

≪Ⅱさらなるサービスの向上に関する項目≫

（委　員）（１）の利用者満足度調査について、未実施だが、実施は予定されているという状態でC評価というのは厳しいのではないか。

（事務局）昨年度の中央図書館の指定管理者業務評価委員会において、同じ状況があり、実施されるまではC評価で、実施後B評価に変更すると決めたため、今年度も同様とした。

（委　員）（２）①の情報発信について、インフォメーションサイトのアクセス件数はどのくらいか。図書館の公式ホームページとインフォメーションサイトのアクセス件数の差が大きければ、解消するよう対策が必要。図書館が作成している利用案内に、インフォメーションサイトについて案内を載せてはどうか。

（指定管理者）図書館の公式ページのアクセス数は膨大だと思うが、徐々にインフォメーションサイトのアクセス件数は増えてきている。（リンクを充実させたい。）

≪Ⅲ適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目≫

（委　員）（１）①自己評価中、収入予算比52％は何の数値を指しているのか。

（事務局）11月末時点の数値を記載しているが、12月に3回目の委託料が支払われることから、数値としての意味は少ない。12月末時点の数値を入れるか、収入予算比の記載を削除するかどちらかの対応を行う。

（委　員）若干の赤字でB評価となっているが、赤字であれば要改善のCとなるのではないか。赤字であるがB評価とするなら、理由を付記した方がいいのではないか。

（事務局）指定管理1年目という事情や、年度前半と比較し徐々に利用料収入が上昇していることから、B評価とした。所管課評価のコメントに理由を付記するようにする。

（委　員）今後は収支が合うようになる、見込みはあるのか。

（指定管理者）このまま文化事業、多目的スペースの貸室を行い、通常程度の施設管理であれば、収支は合うと思われる。ただし、施設が非常に古く当初の想定より多くの修理が必要となっており、今後の施設管理費用が読めず、収支の見当をたてるのが難しい。

【中央図書館指定管理業務評価について】

≪Ⅰ提案の履行状況に関する項目≫

（委員長）（２）②の所管課評価について、取組み不十分の具体的な内容とは何か。

（事務局）アンケート時に、図書館の伝達不十分なところもあり、視覚障がい者用の大活字版・点字版の対応ができていなかった。

（委　員）（３）①の広報の実施について、ツイッターは図書館のホームページから中之島と中央の指定管理者が発信しているのか。私自身、指定管理者のツイッターを発見できなかったため、図書館のホームページにリンクさせては。

（指定管理者）図書館とは別のアカウントを持って運用している。図書館のホームページへのリンクについては（図書館側への依頼事項となるため）検討する。

（委　員）（４）②指定事業の参加者数が4割を満たしていないのに、A評価となっている理由は何か。参加者数は重視していないのか。

（事務局）参加者数は重視している。1月以降に集客が見込まれるイベントを予定しており、年間を通しては、目標の８０％を達成する見込みのため、A評価とした。

（委員長）所管課評価のコメントに、その旨が分かるように付記されたい。

（委　員）（５）②施設管理の経費計上については、どのような資料を確認したのか。

（事務局）収支報告書及び月例会議でのリスク管理報告、修繕の都度受ける報告等で確認している。

（委　員）どこまでチェックするかにもよるが、これだけをもって適切な計上を行えていると評価できるか疑問。

（事務局）今回はお示しできないが、別途明細書を提出いただいており、それをもって確認は行っている。

≪Ⅱさらなるサービスの向上に関する項目≫

（委員長）（２）②自主事業の参加者数が少ないが、A評価がついている理由は（４）②と同じ理由か。

（事務局）　実施回数及び利用者満足度調査の分析とフィードバックの評価は良好であるためＡ評価とした。参加人数としては目標に達していないことから、今後、目標達成に向け努力を求めたい。

（委員長）所管課評価のコメントにその旨を表記したほうがよい。

（事務局）そのようにする。

≪Ⅲ適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目≫

（委　員）（３）財政的基盤の評価に「指定管理の収支について、増収に努められたい」とあるが、この項目の評価コメントには相応しくないのではないか。

（事務局）（１）③の評価コメントへ移動させる。